

# 憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp  
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007  
FAX03-3261-5453

民意を反映する選挙制度実現  
比例定数削減反対！ 運動情報

第 452 号 本号 2 号

2014 年 6 月 20 日（金）

## 秘密会常設の国会法改定案成立 20 日参院本会議 議員と国会の活動を制限する違憲立法

事実上の会期末となった 6 月 20 日、18 時から開かれた参議院本会議は、21 時 47 分に閉会しました。21 時 35 分までに国会法改定案、参議院規則改定案、参議院情報監視審査会規程案が、記名投票の結果、賛成多数で可決・成立しました。国会法改定案の記名投票の結果は、自民、公明、維新、みんななどの賛成 146、日本共産党、民主党、社民党など反対が 78。一括して記名投票に付された参院規則改定案と参議院情報監視審査会規程案の投票結果は賛成 134、反対 91 でした。“毒食らわば皿まで”、秘密保護法強行と同じ構図であり、国会が自分で首を絞め、国会議員が自らの立場を危うくする法案への賛成・推進には国民的な批判が集中します。

これらは国会に「情報監視審査会」という秘密会を常設し、国会を政府の秘密保全体制に組み込み、国会と国会議員の活動に制約を加えるものです（詳しくは憲法しんぶん速報版 444 号・白髭寿一さんの投稿記事参照）。

国会のあり方を決め、憲法問題でもある重要法案を衆議院ではわずか 7 時間だけの審議で、6 月 12 日の議院運営委員会で採決を強行し、参議院でも 7 時間足らずの審議で、参考人質疑もせず、採決時には討論抜き。参院本会議では公明党議員が賛成討論、民主党と日本共産党が反対の討論を行いました。

反対討論に立った日本共産党仁比参院議員は、秘密国会法ともいうべき稀代の悪法であり、わずか 8 人の委員による審査会ではメモもとれない暗黒国会であり、国政調査権も制限される、国会のあり方を大本からかえるものであること、根本的欠陥をもった法案であること、秘密保護法強行時と同じように国民的批判をうけている、こんな悪法は、元になっている秘密保護法と共にゆるせず廃止しかないと、気迫をこめて発言しました。

この日の本会議では、学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律案などの重要法案（押しボタン投票で賛成 223、反対 15 で可決・成立）や、原発事故の汚染で出た汚染土の中間貯蔵施設建設をめぐる、「最後は金目（かねめ）でしょ」と発言した石原伸晃環境大臣に対する問責決議案（記名投票で賛成 104、反対 133 で否決）など 10 数本の法案が、10 数人の傍聴者の前で次つぎと採決されました。

## 緊急国会行動に 300 人以上

憲法共同センター

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター（憲法共同センター）は 6 月 20 日昼休み、国会最終盤、集団的自衛権行使容認の閣議決定のねらいや国会法強行など緊迫した情勢のもと、参議院議員会館前で「集団的自衛権行使容認の閣議決定はやめろ！秘密会設置法案の審議をやめ、秘密保護法廃止法案の優先審議を！緊急国会行動」を開催しました。都内や首都圏から 300 人以上の人たちが参加しました。

集会では小田川全労連事務局長が主催者あいさつ、井上日本共産党参院議員が国会報

告・連帯あいさつを行ないました。新日本婦人の会笠井会長、自由法曹団横山事務局次長、全教今谷書記長昼が活動報告と決意表明を述べました。集会の最後に民青同盟島田副委員長のリードで、「集団的自衛権の行使は認めない」「閣議決定はやめよ」「戦争する国づくり反対」などのシュプレヒコールを唱和しました。

行動提起（憲法会議平井事務局長）では、世論と運動が間違いなく安倍政権を追い詰め、国会会期中の閣議決定をストップさせたこと、しかし安倍政権は、国会終了後閣議決定をねらっていること、臨時国会では関連法律改定と年末の日米ガイドラインの改定を視野に入れていることを前提にしなければならないとしました。そのうえで、①集団的自衛権行使容認が、戦争する国づくりにつながることを、それを閣議決定で強行することは立憲主義の否定であり絶対にゆるせないことなどを、宣伝・対話で国民に語り、広げよう、②憲法解釈の変更を閣議決定で強行しないことを要請するファックスを安倍首相、閣僚と自民党・公明党、両党の議員へ送り続けよう（閣僚と公明党議員のファックス番号は憲法しんぶん速報版 448号〔6月16日付〕、11451号〔6月19日付〕に掲載）、③9月地方議会に向けて、集団的自衛権行使容認反対の意見書採択運動を進めよう、④地元国会議員へのはたらきかけ、要請を強めよう、⑤7月14日（月）18時30分～・全労連会館 2F ホールでの「集団的自衛権行使容認に反対する学習決起集会」に参加しよう、これらの活動を「憲法センターニュース」で交流を、と呼びかけました。

## 「秘密保護法」廃止へ！実行委員会が院内集会、国会前集会

通常国会最終盤、与党が秘密法施行に向けて国会法改定強行を急ぐ中、「秘密保護法」廃止へ！実行委員会は、6月20日参院議員会館行動で、「あくまで廃止、情報監視審査会設置反対」の院内集会を開催。辰巳日本共産党参院議員、福島社民党参院議員、糸数参院議員らが国会報告、藤田早苗イギリス・エセックス大学人権センター研究者らが発言しました。

続く参院議員会館前での集会には60人が参加しました。

## 秘密保護法に反対する諸団体が記者会見 20日

日本ペンクラブ（篠田博之言論表現委員会副委員長）や日本出版社協議会（青山賢治出版の自由委員会委員長）らが6月20日、合同の記者会見をおこないました。記者会見実施を呼びかけたのは、新聞労連、出版労連、民放労連、MICでした。「秘密保護法」廃止へ！実行委員会が応援したものです。

記者会見には前述のほか、秘密法に反対する学者・研究者連絡会（田島泰彦上智大学教授、清水雅彦日体大教授）、日本雑誌協会（高沼英樹編集倫理委員会委員長・光文社、山了吉前編集倫理委員会委員長・小学館）、日本民主法律家協会（大江京子改憲対策本部事務局長）、特定秘密保護法に反対する学生有志の会（SASPL・奥田愛基さん）、日本ジャーナリスト会議（阿部裕事務局次長）、ヒューマンライツ・ナウ（伊藤和子弁護士・事務局長）、藤田早苗さん（前述）、秘密保護法に反対する杉並アピールの会（事務局・高嶋道さん）らが参加、秘密保護法の問題点、集団的自衛権行使容認問題との関係、廃止めざす運動の強化と決意などを語りました。

NHK、共同通信、しんぶん赤旗などが取材しました。